

令和4年度 教育予算充実要望 （報告）

令和3年9月9日（木）、令和4年度に向けての教育予算充実要望のため、連合会の炭谷将史会長、東野智幸副会長、高P連事務局が福永忠克教育長と懇談しました。

新型コロナウイルス感染状況による緊急事態宣言が発令されている期間であり、残念ながら県庁訪問はかなわず、リモートによるWeb会談となりましたが、お互いの意思疎通が十分にできた充実した面談でありました。

重要要望として①オンライン授業等のICT教育環境の充実、②衛生面と現在の生活様式を考慮し、老朽化した生徒用・職員用トイレの改修と洋式トイレの早急な設置、③充実した図書館活動を行うための図書館整備費の十分な予算配分、④新型コロナウイルス等の感染症対策への予算配分をお願いし、併せて各単位PTAからの独自要望の早期実現についてもお願いしました。

ICT教育の環境整備については、まさに今求められていることであり、しっかりと取り組んでいくとご回答くださいました。

「老朽化したトイレの改修と洋式化への支援については、段階的に取り組んでいるが、できるだけ早く実現したい。また、生徒の要望や意見を取り入れたトイレにしたいと考えている。充実した図書館活動を行うための図書館整備費の十分な予算配分についても前向きに取り組むが、生徒の読書状況をしっかり把握し、よりよい方法を考えたい。最後の、感染症対策については消毒液などの消耗品購入に対する予算確保や修学旅行、スポーツや文化の公式大会への参加費負担なども考えていきたい。」と回答していただきました。

その他の要望に対しても、誠実に丁寧に回答していただきました。

また、知事部局や県議会、高校教育課などへは要望書を郵送しました。





